



れんげそう

令和7年5月30日
福生第五小学校
学校通信第574号

支え合う心

校長 泉田 巧人

日々暑さを増してきている校庭には、5月31日(土)の運動会に向け練習する子どもたちの大きな掛け声や声援が響き渡っています。今年度の運動会のスローガンは、「みんなで協力、楽しもう最高の運動会」です。代表委員が校内で言葉を募集し作成しました。二学年合同で演技や競技を行う中、より良くしようと、学年を越えて支え合い、励まし合って一生懸命に取り組んでいる姿はとても立派です。1年生は、小学生になって初めての運動会に向けて2年生と一緒にうれしそうに練習しています。また、3・4年生、5・6年生は、完成度を高めるため、真剣に練習に取り組んでいます。当日は、子どもたちが協力し、楽しんでいる姿を御参観いただき、温かい声援を送っていただきますようお願いします。

さて、5月25日(日)に、第72回福生市消防団ポンプ操法審査会を見に行きました。会場では、消防団の方々が有事の際に対応するため、日々訓練している成果を披露していました。一つ一つのきびきびした動き、真剣な眼差しから、「自分の地域は自分で守る」という責任を感じ取ることができました。子どもたちには、消防団ポンプ操法審査会等の様々な福生市の取組を積極的に発信し、自分たちの暮らしが、地域の方々の働きで守られ支えられていることに感謝できるようにしていきたいと思います。本校の子どもたちは、令和4・5年度に東京都教育委員会安全教育推進校の研究で、「自分の身は自分で守る」自助、「他者や社会の安全に貢献する」共助の力を身に付けてきました。この研究で学んだことを生かし、教育活動全体を通して人を支える心を育み、すすんで地域や社会に貢献できる優しく思いやりのある子どもたちを育成していきたいと考えています。御家庭においても、どんな小さなことでもよいので、子どもが行う役割や手伝い等を価値付け、褒め、認めることで、自分が人のためになっていることを実感できるようにしていただけると幸いです。今後とも御協力をどうぞお願いいたします。



地域の安全を守る消防団の方々
(第72回福生市消防団ポンプ操法審査会)

ふれあい(いじめ防止強化)月間

東京都では、全ての学校で6月、11月、2月に、「いじめや不登校、暴力行為等の問題行動への取組状況を総点検するとともに、問題行動の未然防止や早期発見・早期対応等につながる具体的な取組を推進すること」を目的としてふれあい月間を実施しています。いじめは重大な人権侵害です。本校では、いじめは絶対に許さないという信念の下、学校経営方針に「いじめの未然防止」を明確に位置付け、「福生市立福生第五小学校いじめ防止基本方針」(福生第五小学校ホームページに掲載)を策定し、いじめの未然防止に取り組むとともに、いじめが起きた際には早期に対応しています。学校いじめ対策委員会を更に機能させ、全ての教員がいじめに対しての感度を高くもち、日々の子どもの学校生活を再点検していきます。

いじめの定義に沿って「いじめ」と判断した際には、軽微であっても「いじめた側」、「いじめられた側」双方の保護者に連絡を取り連携して解決していきたいと思っています。また、一学期の保護者会においても説明しましたが、いじめが犯罪行為に相当し得ると認められる場合には、学校としても、警察への相談・通報を行うなど外部諸機関との連携も行い毅然と対応していきます。人権教育を柱として環境を整え、いじめを根絶すべく「やさしい学校 ～思いやり大作戦～」を進めていきます。御協力をお願いします。